

## 平成22年度事業報告書

平成22年度は、10月からの屋外タンク貯蔵所の審査に係る審査受託料の引き下げ等の影響により、厳しい経営環境での業務運営が想定されていたため、事業計画に基づき、特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査の的確かつ効率的な実施を図るとともに、最近における危険物施設の設置・管理の状況、新技術・新手法の開発状況、規制改革の動向等に適切に対応しつつ、危険物等の保安技術に関する調査研究、危険物・危険物施設に関する情報収集・提供、危険物関連設備等の性能評価等や危険物運搬容器の試験確認業務等の事業の確実な実施に取り組むなど着実な業務運営を目指してまいりました。

その概要につきましては、次のとおりです。

(事業報告書ということもあり契約ベースでの数値のため、財務諸表とは異なっていることにご留意下さい。)

### 1 特定屋外タンク貯蔵所等の審査受託

特定屋外タンク貯蔵所等に係る審査受託契約の基数は、全体で1,155基、金額は、637,922千円、予算対比では、基数で180基の減(△13.5%)、金額では、9.1%の減となりました。審査区分ごとの内訳は、次表のとおりです。

(単位：基、千円、%)

区 分	平成22年度 契約基数・金額		平成22年度 予算基数・金額		差引増減基数・ 金額(契約-予算)		増 減 率 契約/予算	
	基 数	金 額	基 数	金 額	基 数	金 額	基 数	金 額
特定屋外タンク	1,128	630,273	1,244	677,693	△116	△47,420	-9.3	-7.0
内								
設置審査	28	16,579	27	16,878	1	△299	3.7	-1.8
変更審査	850	401,555	946	432,448	△96	△30,893	-10.1	-7.1
保安審査	250	212,139	271	228,367	△21	△16,228	-7.7	-7.1
準特定屋外タンク	27	7,649	91	24,039	△64	△16,390	-70.3	-68.2
内								
設置審査	4	1,932	5	2,506	△1	△574	-20	-22.9
変更審査	23	5,717	86	21,533	△63	△15,816	-73.3	-73.5
計	1,155	637,922	1,335	701,732	△180	△63,810	-13.5	-9.1

### 2 調査研究、技術援助及び性能評価等の実施

協会が有する専門知識、技術、経験を活用して、調査研究、技術援助及び性能評価等の事業を実施いたしました。これらに係る総契約件数は、571件、金額は、249,347千円となりました。事業区分ごとの内容は以下のとおりです。

(1) 調査研究 3件 22,566千円  
 (平成22年度予算額 21,600千円)

受託した調査研究3件の事業内容(契約件名)は、次のとおりです。

- ① 危険物事故調査チェックリストの作成業務
- ② 屋外タンク貯蔵所及び移送取扱所の流出事故に関する分析
- ③ 危険物施設における事故の人的要因分析と防止対策に関する調査研究事業

また、SF二重殻タンクの外殻の安全性向上対策に係る調査検討など、重要な課題について、自主研究として積極的に取り組みました。

(2) 技術援助 367件 166,805千円  
 (平成22年度予算額 173,735千円)

事業者等の求めに応じて、危険物等の保安対策に係る、次のような専門技術的な課題について支援いたしました。

- |                                |       |       |
|--------------------------------|-------|-------|
| ① 旧法タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助       | 101件  | 167基  |
| ② 屋外貯蔵タンクの溶接施工方法確認試験に係る技術援助    | 9件    | 9基    |
| ③ 浮き屋根式屋外貯蔵タンクの安全性調査の評価に係る技術援助 | 1件    | 1基    |
| ④ タンク開放周期の個別延長に係る技術援助          | 50件   | 50基   |
| うち1万リットル以上                     | (29件) | (29基) |
| うち1万リットル未満                     | (17件) | (17基) |
| うち再確認                          | (4件)  | (4基)  |
| ⑤ 準特定屋外タンクの安全性調査の評価等に係る技術援助    | 118件  | 184基  |
| ⑥ 危険物等事故関連技術情報の提供に係る技術援助       | 43件   |       |
| ⑦ その他の技術援助                     | 45件   | 68基   |

(3) 性能評価等 201件 59,976千円  
 (平成22年度予算額 56,514千円)

危険物等の保安に係る技術進歩等に的確に対応しながら、新技術・新手法を活用した保安対策のレベルアップを支援するため、次のような危険物等の貯蔵、取扱い又は運搬の保安対策に関して、公正な性能評価等業務を実施いたしました。

- |                  |     |
|------------------|-----|
| ① 危険物関連設備等の性能評価  | 77件 |
| ② ガス系消火設備等の評価    | 58件 |
| ③ 大型化学消防車等の評価    | 28件 |
| ④ 単独荷卸しに係る仕組みの評価 | 31件 |

- ⑤ 変更工事に係る認定事業所として認定を希望する事業所の  
評価 7件

### 3 試験確認等の実施

(1) 危険物等に係る災害の発生を防止するため、危険物の運搬容器や危険物等を取り扱う設備、機器の構造、性能等が所定の技術上の基準に適合するかどうかについて、各種試験を行い確認する業務を実施いたしました。これらに係る総契約件数は、725件、金額は、94,581千円（平成22年度予算額 96,950千円）となりました。その内訳は、以下のとおりです。

① 少量危険物タンクに係る試験確認	90件
② 灯油用ポリエチレンかんに係る試験確認	7件
③ 金属製ドラム等に係る試験確認	124件
④ 金属製18リットル缶に係る試験確認	62件
⑤ プラスチック・紙製容器等に係る試験確認	47件
⑥ 放電加工機に係る試験確認	97件
⑦ 固定給油設備等に係る試験確認	121件
⑧ セルフサービス方式の給油取扱所に設置されるパッケージ型固定泡消火設備に係る試験確認	10件
⑨ 二重殻タンクに係る試験確認	137件
⑩ 屋外貯蔵タンクの内部コーティング材料に係る試験確認	9件
⑪ 防油堤目地部の補強材に係る試験確認	7件
⑫ ナトリウム・硫黄電池に係る試験確認	3件
⑬ 超音波厚さ計に係る試験確認	5件
⑭ 油中ポンプ設備に係る試験確認	4件
⑮ 過剰注入防止設備に係る試験確認	2件

(2) また、事業者からの依頼に応じて、提出された物質について、消防法令に定める類別、性質及び品目を明らかにするための性状確認試験を実施いたしました。受託物品数は、93、項目数は143、金額は、7,084千円（平成22年度予算額 7,647千円）となりました。また、危険物データベース登録確認書の交付件数は、2,018件、金額は、2,992千円（平成22年度予算額 2,903千円）となりました。

### 4 講習会の開催等

(1) 危険物等の保安対策の向上に資するため、危険物等の保安対策に係る基礎技術はもとより、危険物保安行政・石油コンビナート等防災行政の最新の動向、新技術・新手法等の活用方策、事故事例とその対応策、専門技術的な分野における実務者の養成等を目的に、一部事業を整理し、次のような講習会等を開催いたしました。

- ① 危険物保安技術講習会  
市町村消防機関及び都道府県の主に危険物規制事務に従事する職員を対象とし、東京都で開催しました。(受講者数：延べ589名)
- ② 危険物事故事例セミナー  
関係事業所職員及び消防職員等を対象とし、東京都で開催しました。(受講者数：262名)
- ③ 危険物事故防止対策等セミナー  
関係事業所職員及び消防職員等を対象とし、秋田市、新潟市、福井市、京都市、松山市及び佐賀市で開催しました。(受講者総数：352名)
- ④ コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会  
関係事業所職員等を対象に、コーティング上からのタンク底部板厚を超音波連続板厚測定方法により測定する場合に、必要となる知識等に関する講習会を東京都で開催しました。(受講者数：82名)
- ⑤ 屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者講習会  
屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者等を対象とし、東京都及び大阪市内で開催しました。(受講者総数：241名)
- ⑥ 防災管理者・副防災管理者研修会・フォローアップ研修会  
特定事業所の防災管理者等を対象とし、札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、倉敷市及び北九州市で開催しました。(受講者総数：696名)
- ⑦ 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に関する講習会  
屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検を実施する者等を対象とし、札幌市、仙台市、東京都、川崎市、千葉市、名古屋市、大阪市、倉敷市及び北九州市で開催しました。(受講者総数：258名)
- ⑧ 屋外タンク実務担当者講習会  
屋外タンク関連基準の正しい理解、過去の補修履歴の保存・活用、適切な検査方法等に関する知識・経験の継承は重要な課題であることから、平成21年度に新たに企画し開催した講習会です。関係事業所職員等を対象とし、札幌市、東京都、大阪市及び北九州市で開催しました。(受講者総数：661名)

(2) 危険物等の保安技術に関する情報の提供等として、次のような事業を実施いたしました。

- ① 機関誌の発行  
技術情報誌「SAFETY & TOMORROW」を隔月に発刊しました。
- ② 危険物安全対策教育用視聴覚教材の制作  
視聴覚教材「その腐食を見逃すな！～危険物施設の流出事故防止対策～」の制作・配布を行いました。
- ③ ホームページ  
ホームページ(<http://www.khk-syoubou.or.jp/>)の内容を充実するとともに、新たに相談窓口を設置するなど、協会業務等に関する情報の提供に努めました。

- ④ 灯油用ポリエチレンかんなど、国民生活に密着した品目に関する注意事項を記載したパンフレットの作成・配布を行いました。
- ⑤ 危険物事故防止対策論文の募集・表彰  
危険物に係る火災・流出等の事故件数が高い水準を示しているなか、事故防止に係る提案、提言等を得ることを目的として募集しましたが、20編の応募があり、消防庁長官賞1編、理事長賞1編及び奨励賞2編を選考しました。

## 5 その他

危険物事件事例等の情報提供の利便性をさらに高めるため、既存のシステムを改め、事件事例件数や内容の充実を図るとともに、過去の事故データの集計・分析や危険物関連法令・用語の検索を可能とする「危険物総合情報システム」を構築しました。